

様々な資格と検定

福永萌華

近年、様々な資格や検定が見受けられるようになりました。その種類は多岐にわたり、約840種類も存在していると言われています。実用英語技能検定・実用数学検定・TOEIC・日本漢字検定など多くの人に認識されている資格や検定が存在する一方で、ねこ検定・チョコレート検定・掃除能力検定・きこの検定・ダイエット検定・境港妖怪検定など珍しい検定も存在するそうです。そして、統計によるとTOEIC・宅地建物取引士資格・日商簿記検定など英語・法律・会計などの基礎的な資格が人気です。大学生にお勧めの就活に有利な資格は秘書検定・日経TEST・ITパスポート・宅地建物取引士資格・MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）・日商簿記検定・ファイナンシャルプランナー・TOEICなどだそうです。

順を追ってそれぞれの資格の説明をすると、まず秘書検定は特に女性に人気で、一般事務を目指す人にお勧めです。秘書検定には3級、2級、準1級、1級が存在し、3級であれば合格率は高いため比較的容易に取得することができ、また秘書検定で身につくビジネスマナーは、事務職に限らず、様々な職種・業種で役に立ちます。日経TESTは、ビジネスパーソンや学生の経済知力を測定するテストです。この資格は、経済、金融、産業の動きから、消費、技術、国際情勢まで多岐にわたる経済情報を学び、得られる情報や考え方が就活や社会人生活の中で役に立ちます。次にITパスポートは経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営に関する知識や、その他IT業務に必要なプロジェクトのマネジメント知識、ITに関する幅広い総合的な知識が問われる資格です。続いて宅地建物取引士資格は、不動産を取引する際に仲介役を果た



す国家資格です。しかし実際には不動産業界以外にも銀行、保険会社などの金融機関、住宅メーカーにも役立ちます。合格率はなんと20パーセント以下とも言われるほど難易度の高い資格です。次に、MOSは世界基準のパソコン資格でWord, Excel, Power Pointなどの利用スキルを証明する資格で、本学でもMOS検定対策講座を受講することができます。次に、日商簿記検定は企業の経営活動を記録、計算、整理して経営成績と財政状態を明らかにする技能です。就職活動の際にも企業を選択する際にも役に立ちます。続いてファイナンシャルプランナーはお金に関する知識を元に住居、教育、老後の生活など将来にあった人生設計・資金計画のアドバイスを行う仕事です。自信の将来設計を行う際にも非常に役に立つ知識です。最後はTOEICです。本学の学生の多くは受験経験があるのではないのでしょうか。世界的に最も認知度の高い検定はTOEFLですが、日本においては圧倒的にTOEICが有名です。TOEICは主に英文を読む力と聴く力を測るテストです。

TOEICをはじめとする様々な検定本が図書館にそろえられています。資格・検定の勉強をすることで様々な分野の知識を身につけることができ、また自分自身の将来の選択肢を広げることにも繋がります

ふくなが もえか（英米語学科1年次生）